

仮想ストレージを導入し、バックアップ作業を削減

申請事業者：株式会社ひむか流通ネットワーク（宮崎市）
業種：情報サービス・情報通信業

コンサル事業者：株式会社エフタイム（東京都）
業種：情報サービス・情報通信業



仮想化ストレージにスナップショットを保管し、作業時間を大幅削減！

取組の概要

- 導入部門：全社部門
- 導入業務：システム強化対策
- 導入目的：サイバー攻撃対策と事業継続性の確保のため
- 導入技術：仮想ストレージ基盤「Alletra Storage 5010H」
仮想基盤サーバー「DL360 Gen10」
- 導入手法：新システム導入と運用基盤システム環境の再設計
- 導入費用：¥12,712千円（税抜）
（コンサル費用 ¥383千円、導入・他 ¥12,329千円）

取組の背景

- 抱えていた問題点
 - ・サイバーセキュリティ対策に資する人的作業の負担が大きく、勤務体系に影響が大きい。
 - ・実被害が発生した際に伴う復旧作業は、影響範囲と復旧作業に掛かる時間も膨大なことが予想される。
- 解決に向けた課題設定等
 - ・全面的に仮想ストレージ基盤を導入し、実行環境、データすべてをスナップショットでフルバックアップ可能とする。
 - ・ディザスタリカバリ(DR)用実行環境を構築し、遠隔地でも再稼働可能な環境を準備する。

取組の成果

- ・バックアップ作業を87.5%削減
バックアップ作業 月平均80時間 → 10時間
(4名体制) (1名)
※深夜作業がなくなり、システム停止を必要としなくなる
※導入後は日中勤務でのデータ確認のみ
- ・復元・復旧の時間を98.6%削減
復元・復旧作業 36時間→30分
※数クリックで復元可能
- ・サービス復旧不可状態を回避（ゼロへ）
サイバーテロ、自然災害等の発生時に復旧不可能、サービス再開不可能（見通しが立たない）となる事態を『ゼロ』にする
※被害を最小限に、復旧できる体制、仕組みの確立

